

暴力的指導を行うコーチの4つのタイプ

暴力的指導を行うコーチには、以下に示すような4つのタイプがあるといわれています(望月, 2014)。それらは、① 暴力を有益で必要だと信じている「確信犯型」、② 暴力以外の指導方法を知らない「指導方法わからず型」、③ 感情のコントロールを失って暴力を行う「感情爆発型」、そして、④ ストレス解消のために暴力を振るう「暴力行為好き型」です。

そこで、暴力的指導を行う各タイプのコーチに対して、どのような対応策が求められるのかを考えてみます。まず、「確信犯型」ですが、このタイプは愛のムチとして暴力を積極的に用いることが特徴です。今の時代に即した正しいスポーツ観を持つ必要があります。ただし、スポーツ観は自らの経験を通じて形成される部分が大きいため、なかなか変わりにくいタイプだともいえます。つづいて、「指導方法わからず型」は自らの経験だけを頼りに指導するタイプです。研修会などで新しい、かつ正しい知識を入手することが求められます。また、「感情爆発型」は情動対処の能力が不十分なタイプです。選手のミス等に対して「カッ」となってしまう、つい暴力を振るってしまう。アンガーマネジメントの方法を身につけるなどして、自分自身の感情をコントロールできるようになることが効果的です。最後の「暴力行為好き型」のコーチについては、指導者としての適性を疑う必要があります。

<引用文献>

- 望月浩一郎(2014) スポーツ部活動から暴力をなくすために何が必要か?
菅原哲朗ほか編, スポーツにおける真の指導力: 部活動にスポーツ基本法を活かす. エイデル研究所, pp. 124-133.